

最近経験した 特異な外耳道真珠腫症例

厚生連上越総合病院

耳鼻咽喉科

五十嵐良和

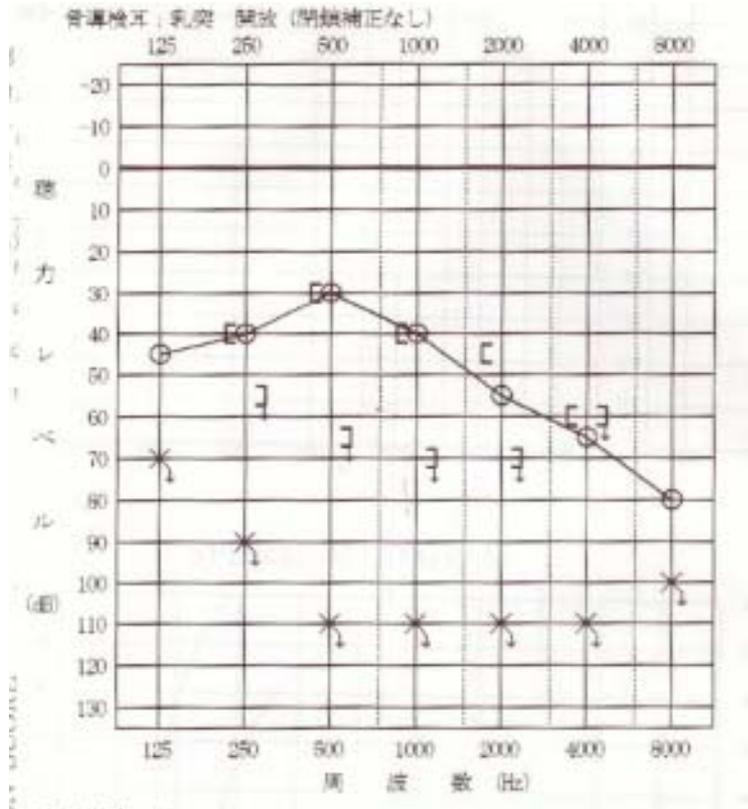
- 1 外耳道から乳突洞へ浸潤し、
顔面神経麻痺を発症した症例
- 2 外耳道真珠腫手術後、
鼓膜に大欠損を生じた症例

症例1 80代 男性

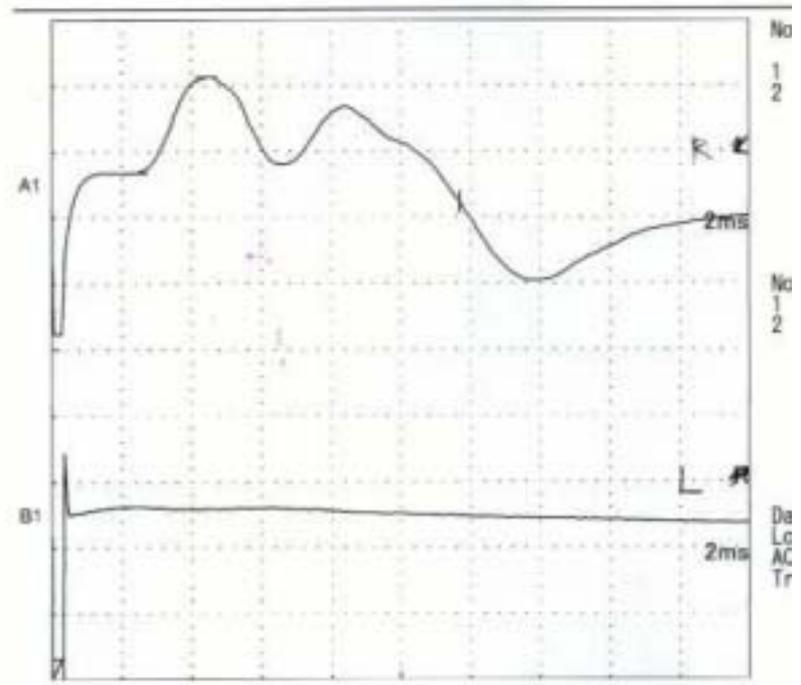
以前より左難聴あり。

本年5月左耳漏をともなう顔面麻痺を生じ、真珠腫として紹介。





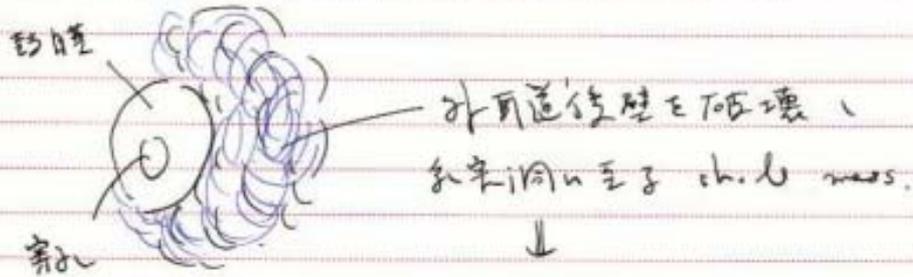
聴力左scale out



ENoG 左反応なし

手術所見(内視鏡下)

手術所見及手術術式

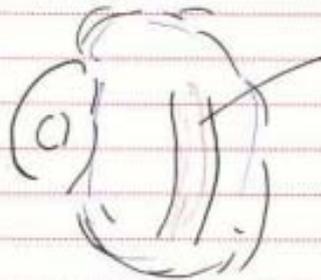


↓
可及的摘出 (内視鏡下)

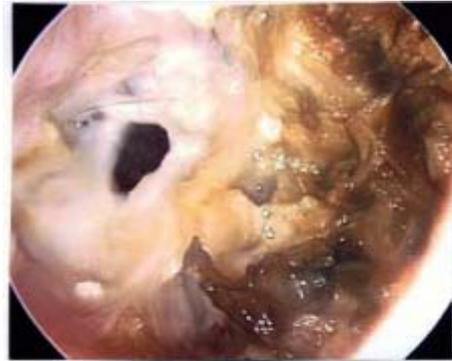


↓
露出した顔面神経垂直部

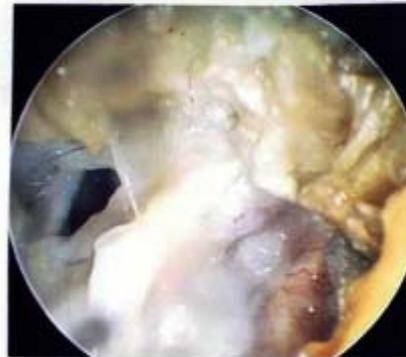
神経刺激装置 (6.5^{mm}) にて
顔面神経を正確に可



再建操作をおこなうことが終了。



ope 前



真珠腫を
剥離中。

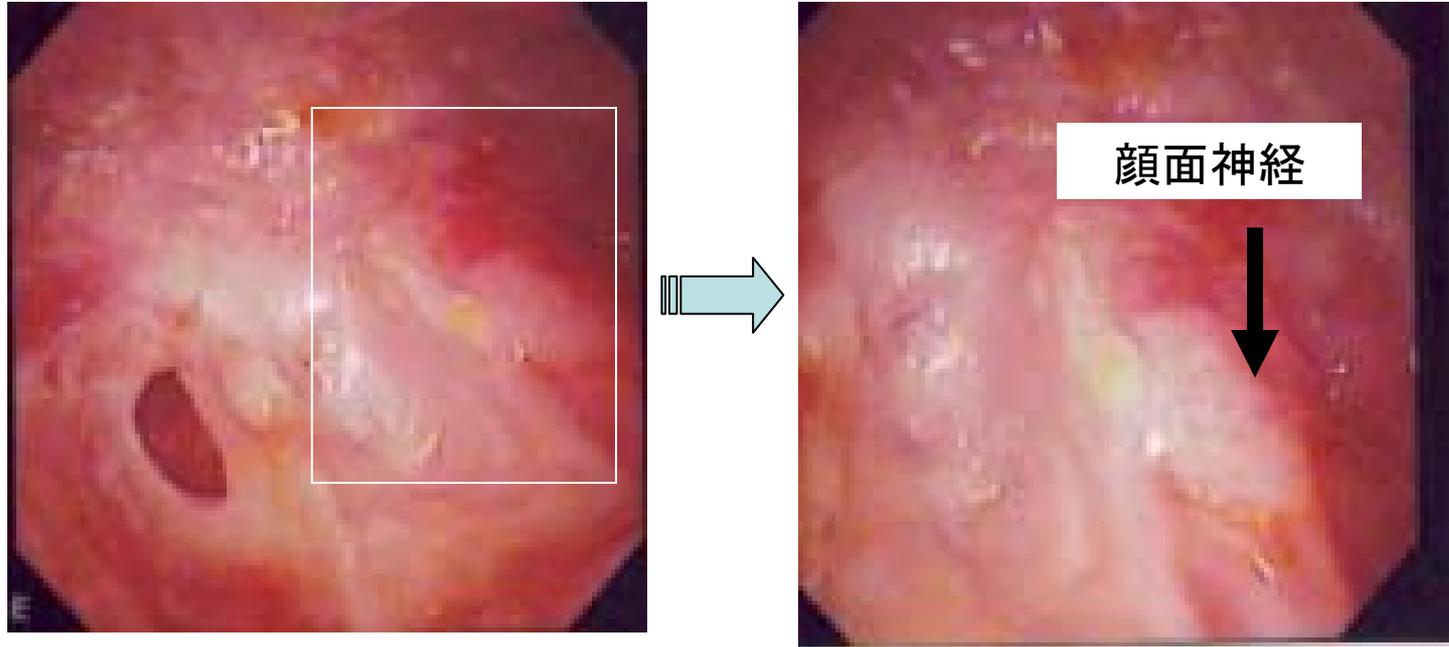
← 顔面神経がみえ



摘出終了。

顔面神経が
見え出したので
おこしい

術後耳内所見と経過



術中、顔面神経電気刺激で表情筋運動あり
術後3ヶ月目、表情筋の動きが出てきている

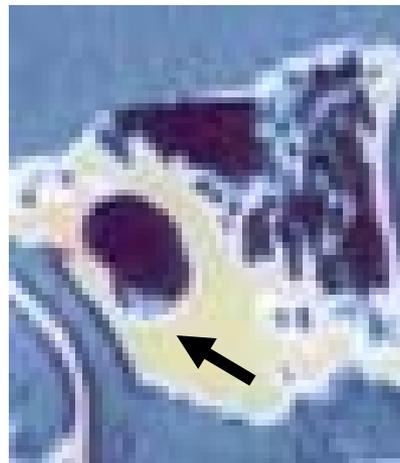
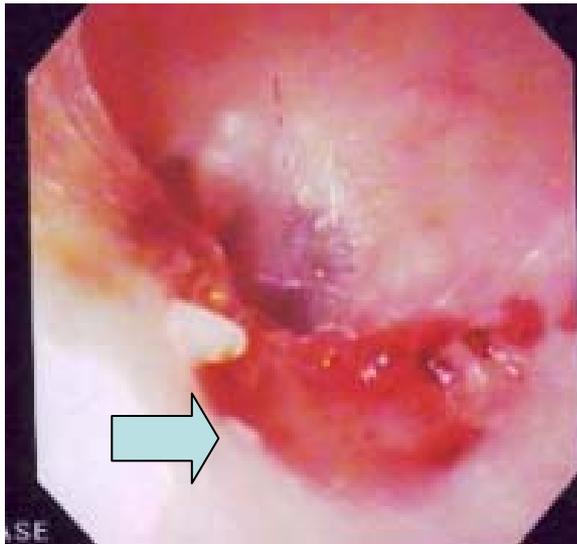
症例2 50代 女性

左耳痛を訴え近医を受診。

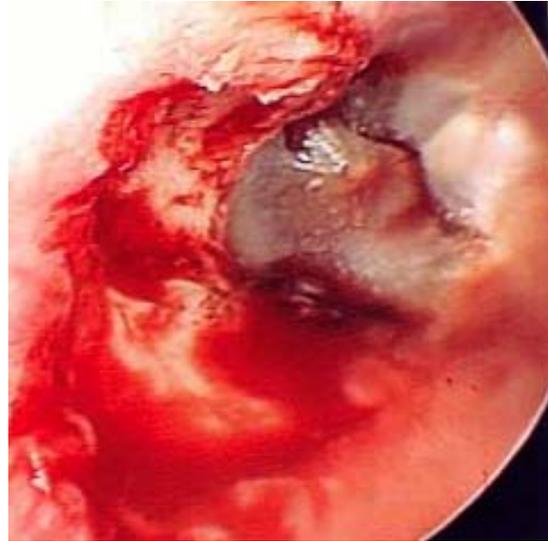
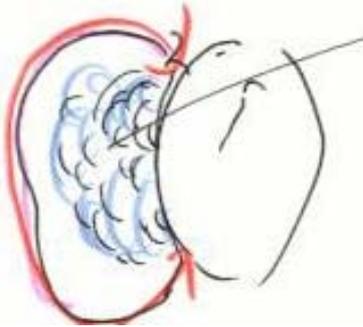
左外耳道下壁に上皮欠損・陥凹あり

生検にて真珠腫と診断され、当院へ紹介。

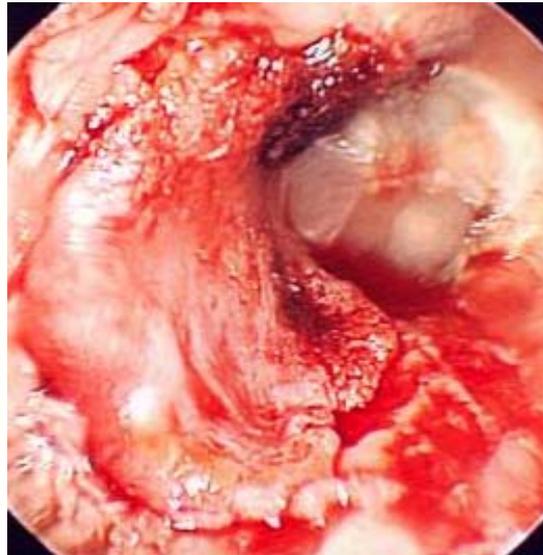
鼓膜に病変は認めない。



手術所見(内視鏡下)

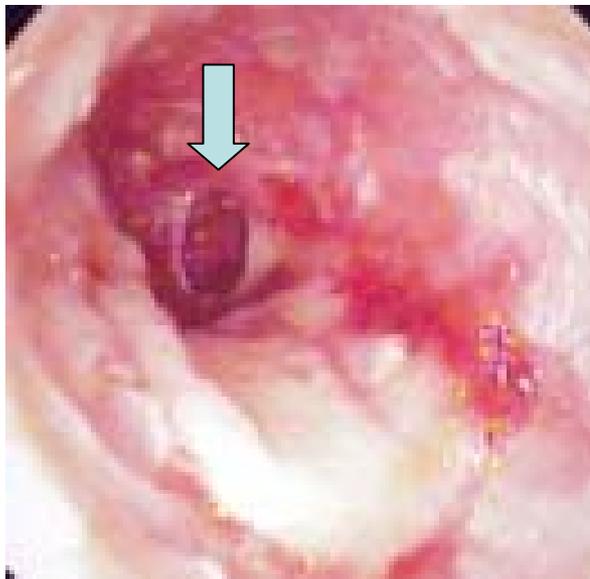


母膜を含めて
真珠腫を摘出
鋭匙で骨壁を操作

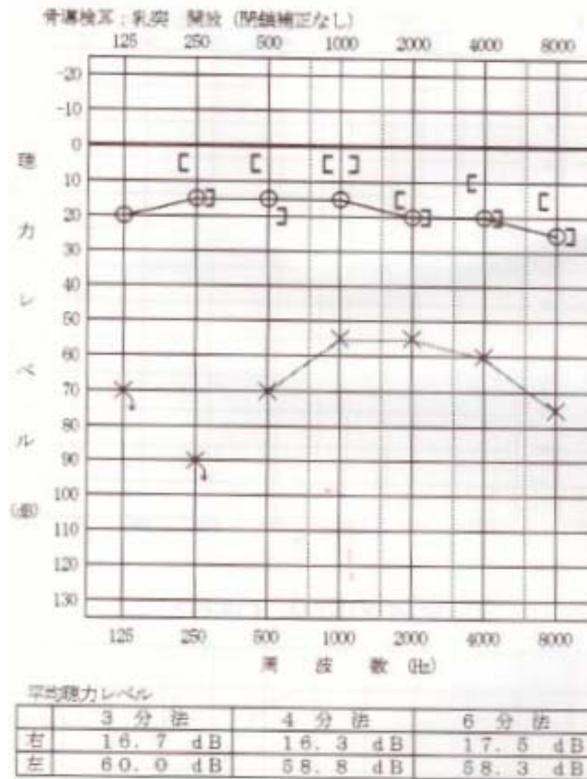


骨露出部を
皮下組織で被覆

術後経過



術後1週

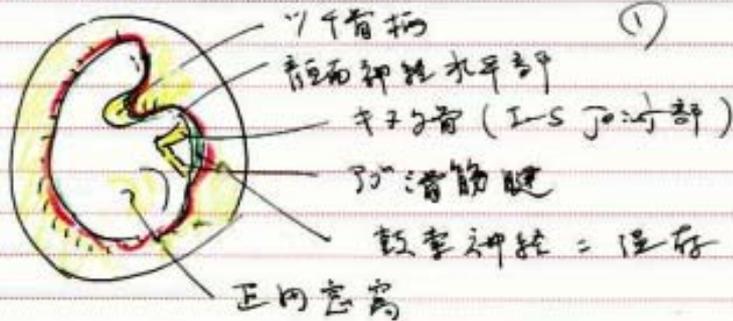


術後2ヶ月

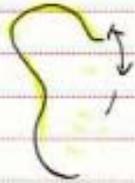
移植部外耳道の上皮化は良好だが
 術後1週より鼓膜穿孔出現(矢印)拡大、聴力も低下
 → 術後2ヶ月目に鼓膜形成術を施行

2回目手術所見

手術所見及手術術式



穿孔箇所を剥離して新鮮化 (2)



耳鼓上部の筋腫を採取し、
underlay した。 (3)

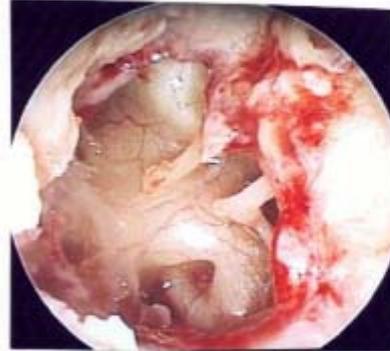
前下縁し、片上場し、筋腫の間に
接着した



1.02 43針 suture
予備に外子にて治療保存。



① op前



② 1:2 筋

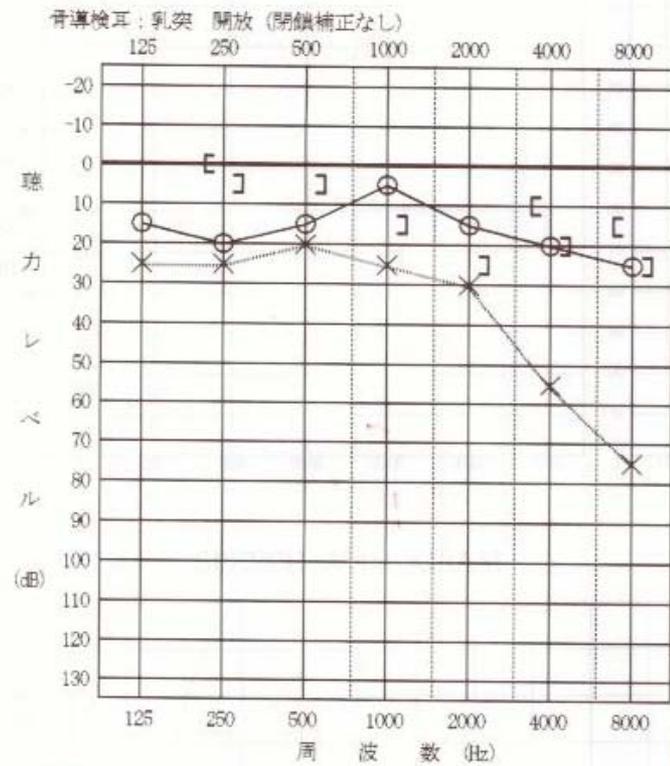


③ 2.3 筋か1)

2回目手術後経過



オペ直後



平均聴力レベル

	3 分 法	4 分 法	6 分 法
右	11.7 dB	10.0 dB	12.5 dB
左	25.0 dB	25.0 dB	30.8 dB



4ヶ月後

鼓膜穿孔閉鎖、聴力改善
真珠腫の再発もなし

今回の症例経験からえられたこと

第1例

顔面神経麻痺を生じる外耳道真珠腫の進展例でも顔面神経は意外と頑丈。

第2例

外耳道真珠腫の術後、鼓膜穿孔を合併することがあるので要注意(要IC)。

○いずれの症例でも内視鏡が有用であった。